

TSUKUBA KYOTEN NEWS

The Center for Distance Learning of Japanese and Japanese Issues
筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター
日本語・日本事情遠隔教育拠点

一 拠点長就任のご挨拶 一

この度、2022年4月より日本語・日本事情遠隔教育拠点の拠点長の任を拝命いたしました伊藤秀明です。日本語・日本事情遠隔教育拠点は2010年に文部科学省より「教育関係共同利用拠点」として一期5年の認定を受け、現在、第三期の3年目を迎えています。

私自身は第二期の3年目より日本語・日本事情遠隔教育拠点と関わり、今年が6年目と、まさに私自身も拠点との関係の中で第二期へと入っていく節目でもあります。この節目の中で拠点長という重責を感じながらも、これまで日本語・日本事情遠隔教育拠点が育ててきた多くの関係機関との協力関係を維持・発展させ、新たな発想のもとに更なる展開を築き上げていきたいと考えております。

どうぞ今後とも日本語・日本事情遠隔教育拠点をよろしく願いたします。

日本語・日本事情遠隔教育拠点 拠点長 伊藤秀明

初級日本語学習者にオススメ！

日本語会話例検索コンテンツ『にほんごアベニュー』を公開しました。



2022年6月1日『にほんごアベニュー』を公開しました！

このコンテンツは、筑波大学に通う留学生からの「日本語の授業を受けて、話す練習はしているけれど、実際に日本語を使う場面に触れることは少ない・・・」の声を元に開発し、「はたらき」の情報によって整理された発話・会話例の検索ができるPWA（※）コンテンツです。

※PWA (Progressive Web Apps) とは、Webコンテンツをスマートフォンアプリのように使える仕組みのことです。スマートフォンでホーム画面にブックマーク登録することでスマホ向けアプリと同様にご利用いただけます。



▶ おすすめ 1



ユーザログインなしで『にほんごアベニュー』を体験できます。
(一部機能の制限がございます)

▶ おすすめ 2



「はたらき」は話者や場所を自由に組み合わせて検索できます。

▶ おすすめ 3



発話はすべて音声で確認できます。

▶ おすすめ 4



補助言語（英語併記、ウズベク語併記）、画面の色、文字サイズの設定がカスタマイズでき、ユニバーサルデザインに対応しています。

▶ おすすめ 5



Can-doに沿った会話例をユーザーが自由に投稿することができ、他のユーザーより「いいね」の送信などインタラクティブなコミュニケーションができます。



『にほんごアベニュー』という名前は“にほんごアベニューという通りで様々な日本語の表現に出会う場”をイメージして名付けました。渡日前留学生の学習支援におすすめ頂けると幸いです。今後Can-doごとのクイズや初級後半・中級レベルの会話例を拡張する予定です。

Pick Up

『日本語マグネット』を公開しました！

オンライン国際教育プラットフォーム「Japan Virtual Campus (JV-Campus)」の試験運用が、2022年3月10日より開始しました。本拠点も日本語を社会との関わりから紹介するアニメーション教材『日本語マグネット』を提供しています。(字幕付き：日本語・英語・日本語ルビ)

- ▶ 日本語の教科書から離れて、日本語が現代の日本社会でどのように使われているかを、いろいろなテーマで見えていきます。
- ▶ 学術的根拠に基づいて話していますが、研究者ではない日本語学習者の理解を促進させるために、日本語の表現や会話のテンポ・リズムに配慮しています。
- ▶ 様々な側面で変化している日本語を題材に、客観的な視点からの考察やそれぞれの母語との比較を通して、言語の新たな側面の気づきを促す工夫を施しています。



現在、「日本語の特性」、「日本語の数」、「日本語の名前」、「日本語の方言」を公開しており、今後も随時テーマを追加していきます。登録すればどなたでも利用できますので日本語学習の一助としてお役立て下さい。

日本語・日本事情遠隔教育拠点のホームページをリニューアルしました。

ユーザーの利便性向上と広報力強化の観点により、デザインを一新し、ページ構成の見直しを行いました。各コンテンツの情報の整理、コンテンツを引用した論文・発表の抽出機能を追加し、研究事例の検索が向上しました。



日本語評価ポートフォリオシステムの名称が「ALPS」に決定し試験運用を開始しました。

様々な学習の成果を保存できるポートフォリオシステムの名称がALPS (Assessment for Learning through Portfolio System、アルプス) に決定いたしました。

現在、学内での試験運用を行っており、改善点を洗い出しています。2023年の公開に向け、より使いやすいコンテンツとなるようブラッシュアップしていきます。



6月3日 講演会『第1回 日本語教育とICT活用を考える <理念編>』が開催されました。

第1回目は山田智久先生(西南学院大学教授)をお招きして『日本語教師とICTの親和性 ~技術受容モデルの観点から~』というタイトルでご講演いただきました。

ICTに強い教師とはどの視点から考えるか、現在のICT飽和期において何が大事なのか、先生の文脈でICTリテラシーが示され、各々自身の立場に置き換え考える機会となりました。

参加者アンケートでは「日本語教師の先生が、自身で思っていること、ICTや理念についてのお話をお聞きすることが新鮮でした。」「現在のICTの日本語教育への活用状況がわかり、興味深かったです。」などの感想が寄せられました。

当日は国内外より172名の皆さまにご参加いただきありがとうございます。

今後も様々な講演会・ワークショップを予定しております。どうぞご期待下さい。

筑波大学 CEGIOC
日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催
第1回
日本語教育とICT活用を考える
<理念編>
山田 智久 (西南学院大学)
日本語教師とICTの親和性
~技術受容モデルの観点から~
みなさんはICTに強い教師ですか。それとも弱い教師ですか。得意できるが、ゲームと遊べるが、いかにうたがいますが、果たしてこの強い・弱い判断基準は何によって形成されているのでしょうか。そもそもICTに強い教師とは存在するのでしょうか。今回のウェビナーでは、日本語教師とテクノロジーの関係について技術受容モデル(TAM)の観点から一緒に考えてみたいと思います。
日程：2022年6月3日(日) 14時~16時
開催方法：オンライン (Zoomウェビナー形式)
参加費：無料
参加申込：https://forms.gle/5Dh3mW7Z92Dm55
詳細は日本語で「webinar」で検索してください。
お問い合わせ先：jp-kyoten@un.tsukuba.ac.jp
筑波大学CEGIOC日本語・日本事情遠隔教育拠点です。
©2022年6月3日開催。このウェビナーの録音はYouTubeチャンネルを通じて中継公開を予定しております。録音の転載、転売はいたしません。

『リーディング・チュウ太』システム障害に関するお詫び

2022年3月16日から4月13日まで『リーディング・チュウ太』にアクセスできない事象が発生し、ユーザーの皆様には大変ご迷惑をお掛けしたと深くお詫び申し上げます。

この度の不具合は、3月16日23時40分頃に発生した地震による停電で起動ファイルが破損したことが影響した可能性があります。

今年度、停電対応ソフトウェアを導入し停電による障害の発生解消に努めます。

また、復旧の際は皆様より温かいお言葉をいただきありがとうございました。